



古石

後援会だより

URL: http://古石.com/

第3416号 発行令和2年11月 古石ひでさと後援会事務局 岩見沢市橋向南1条1丁目 TEL 26-2226

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。 E-mail: furuishi@gray-plala.or.jp

日本製紙釧路の紙生産工場撤退

需要減 コロナが拍車

収益改善へ集約化

日本製紙が釧路工場の製紙事業からの撤退に踏み切ったのは、主力品目である新聞用紙を含む紙の需要減が新型コロナウイルス流行で加速し、生産効率化による収益改善を迫られたためだ。業界各社も生産体制縮小や他社との合従連衡による経営基盤強化を急ぐ。

日本製紙、釧路生産撤退

各社 事業再編加速も

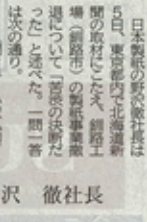
新聞部数の減少は全国に共通する。日本製紙連合会によると、今年9月の新聞用紙の国内出荷量は前年同月比10・6%減で、前年を下回るのは35カ月連続だ。同社の野沢社長は「新聞紙の需要が年率で7%減少し、コロナで拍車がかかる。『東と西の拠点』(同社)に集約することで、工場稼働率を高め物流コストも抑えられる」と同社は判断したとみられる。

地元経済の衰退懸念

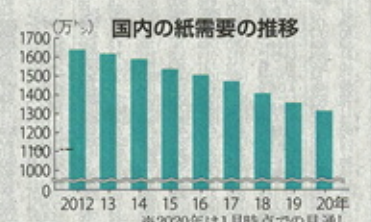
従業員9割配転検討

【釧路】日本製紙が2020年9月に釧路工場の製紙事業を撤退すると発表し、地元・釧路市の経済や雇用への影響が懸念されている。約600人が配転しているものの、配転先が不明な従業員も少なくない。配転先が不明な従業員も少なくない。配転先が不明な従業員も少なくない。

工場操業100年「苦渋の決断」



日本製紙の野沢社長は、100年を記念して工場を閉鎖する苦渋の決断を下した。従業員9割を他社へ配転させる計画がある。



三笠ダム事業費520億円増

当初の倍、完了7年遅れ

【釧路】三笠ダム事業費が当初の倍増し、完了も7年遅れとなっている。事業費は当初の260億円から520億円に増え、完了も当初の2013年から2020年へと遅れている。



JR営業赤字 最悪385億円 9月中旬 コロナで全事業減収

エリア限定経済に配慮 時短要請 感染防止効果は未知数

災害ごみ処理 原案作る 青森市 仮置き場など想定

市議会 484万の予算見直し 484万の予算見直し



ばんえい発売額 最高226億円

上半期 コロナ禍 ネット販売好調

【帯広】帯広市が主催するばんえい競馬の2020年度上半期(4月24日～10月12日)の馬券発売額が、前年同期比55・7%増の226億1547万円と急増し、過去最高となった。新型コロナウイルスの影響による集客もり需要の拡大で、インターネット販売が大きく伸びた。

ネット販売は同75・9%増の11億8701万円と全体の9割余りを占めた。市は新型コロナウイルスの感染拡大で旅行や外出を控え、自宅で過ごす時間が増えた人が馬券を購入したとみている。競輪や他の公営競技の中止も影響した。